

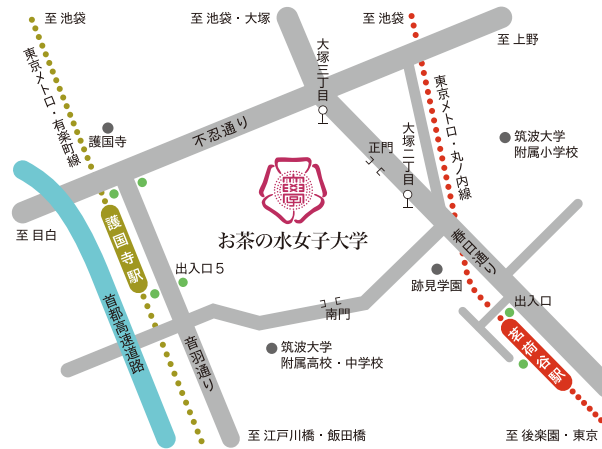
グローバル協力センターとは

当センターは、国際協力を通じて女子教育を促進するための活動拠点として、2003年7月に「開発途上国女子教育協力センター」として開設されました。

2008年4月に「グローバル協力センター」に改組され、国際協力、平和構築に関するお茶の水女子大学の教育、研究、国際貢献を促進しています。

また、2017年からは、「持続可能な開発のための

2030アジェンダ・持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」を巡って、議論を深める機会を提供するとともに、大学の国際協力に取り組んでいます。



Access Map

- 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分
- 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分
- 都営バス「大塚二丁目」停留所より徒歩1分



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



お茶の水女子大学グローバル協力センター Global Collaboration Center (GCC)

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 (学生センター棟308室)

TEL/FAX : 03-5978-5546

E-mail : info-cwed@cc.ocha.ac.jp

<https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/>



2026年2月

グローバル協力センター Global Collaboration Center



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

国際的な課題に関する教育・研究と女性リーダーの育成

調査研究・自主活動支援

国際的課題について、本学学生が調査研究や自主活動を行い、解決につながる道筋を見出してもらうことを目指し、海外調査支援や活動の支援等を実施しています。



- ・「途上国研究・国際協力分野海外調査支援」
- ・「共に生きる」スタディグループ学生の自主活動支援
- ・大学間連携イベント
- ・センター図書室開室・貸出
- ・JICA 東京特設インターンシップ
- ・国際協力分野のキャリア等の情報提供



開発途上国の社会経済、国際協力、NPO等に関する授業

NPOや国際協力実務経験を有するセンター所属の教員が授業・演習を開講しています。スタディツアーでは、講義・文献等から学んだことを基礎としつつ、開発途上国の現場を実際に訪問し、フィールドワークを通して途上国の課題や国際協力に関する理解を深め、自らが何をしなければよいかを強く意識してもらうことを目指します。

【2025年度の実績】

- ・国際共生社会論実習（全学共通）
- ・リベラルアーツ演習（国際協力とSDGs）
- ・平和と共生演習（全学共通）
- ・国際協力特論（グローバル文化学環）
- ・NPO入門（全学共通）
- ・NPOインターンシップ（LA）



シンポジウム・講演会・セミナー

国際的な課題解決に向けて活躍している専門家の講演を通して、どのような課題があるのか、どのようにしてそれらの課題に挑戦していけばよいのかなど、学生自らが目標を見出していく場を提供することにより、女性リーダー育成を目指します。

【2025年度の実績】

- ・持続可能な開発目標（SDGs）セミナー
- ・「国際協力の現場を知る」連続セミナー
- ・ブータン連続セミナー
- ・「平和と共生演習」における特別講義



開発途上国の女子教育・乳幼児ケア・就学前教育に関する支援

開発途上国の女子教育支援のための五女子大学コンソーシアム



本学では、日本政府のアフガニスタン復興支援の一環として、津田塾大学、東京女子大学、奈良女子大学、日本女子大学と連携し、2002年に五女子大学によるコンソーシアムを締結しました。

コンソーシアムのもと、アフガニスタン女子教育復興のための教員研修を、2002年から2012年の間実施し、女性教員等169名を受け入れました。五女子大学コンソーシアムは、2006年より支援対象を開発途上国の女子教育に広がっています。

- ・五女子大学コンソーシアム協定調印（2022年更新）
- ・五女子大学コンソーシアム協定に基づく連絡協議会の開催（年2回）
- ・五女子大学コンソーシアム合同国内スタディツアー
- ・津田塾大学、奈良女子大学との国際協力・開発途上国・SDGsに関する科目の単位互換

JICA課題別研修「乳幼児ケアと就学前教育」



JICA（独立行政法人国際協力機構）の委託を受け、途上国においても重要性が高まっている幼児教育分野の人材育成のための研修を実施しています。「幼児教育」をテーマとして2006年より12年間にわたって中西部アフリカ諸国から135名の研修員を、2018年からは「乳幼児ケアと就学前教育」をテーマとしアフリカ・中東・アジア諸国から81名の研修員を受け入れ、同分野の政策・実務レベルでの人材育成に貢献しています。

情報共有、ネットワーキング

「共に生きる」スタディグループを通じて、スタディグループメンバーの学生による自主活動を支援するとともに、メーリングリストによる国際協力や平和構築に関する学内外の講演会、セミナー、イベント等の情報提供を行っています。

野々山基金



本学卒業生故野々山恵美子様の遺贈により設立された基金を原資として、2012年以降、研究支援とネットワーク強化のため、毎年2名のアフガニスタン女性大学教員等を対象に短期研修を行い、2019年までに16名を受け入れました。また、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）と連携し、アフガニスタンにおけるオリジナル絵本作成と学校図書館への配布支援を実施し、これまでに9タイトル、計21,600冊のオリジナル絵本を作成・配布しました。2023年からは、五女子大学コンソーシアム活動、開発途上国に関するテーマでの海外調査支援など、開発途上国への協力を軸とした活動に取り組んでいます。

◆センター主催のセミナーやシンポジウム、報告書など活動成果についてはホームページにて随時公開しています。



<https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/index.html>